




10月23日に、地域の小・中学校の先生方を対象に、第2回学習会を開催しました。学習会の内容と、ご参加いただいた先生方のアンケートを一部ご紹介します。

<p>テーマ：『進路について知ってみよう 考えてみよう』</p>	<p>講義担当：本校小学部主幹教諭、 本校コーディネーター</p>
<p>前半は、本校小学部 熊本主幹教諭が、長崎県立佐世保中央高等学校での勤務経験を基に、高等学校の現状を踏まえながら将来を考えた進路選択についてミニ講義を行いました。後半は、先生方から事前にいただいた「知りたいこと、聞きたいこと」を基に「Q&A」の形で回答・説明を行いました。</p>	
<p>質疑応答の時間では、小学校から中学校に上がると、3年間という短い期間で進路に向けて指導することになること、将来の進路選択を広げるために早いうちから困難さに対する支援を行い、個々のもてる力を高めていくこと、継続した指導・支援や自己理解を高めていくことなどの大切さを改めて感じる場になりました。</p>	
<p>たくさんの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。</p>	
<p>【内容】</p>	
<p>(前半：ミニ講義)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校と義務教育の違い ・高等学校において必要な力 ・高等学校、特別支援学校高等部の卒業後の進路 	
<p>など</p>	
<p>(後半：事前質問に対する Q&A)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校での受検時や入学後の配慮 ・特別支援学校における就労に向けた取組、卒業後の進路 ・A型支援事業所とB型支援事業所の違い ・進路指導の注意点 ・中学校・高校進学に向けて準備しておくこと 	<p>など</p>
<p>【学習会後のアンケートから ～一部をご紹介します～】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校、高等学校に向けて、小学校段階で取り組ませた方がよいことや自己理解、保護者の理解について、とても参考になりました。(小学校) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・A型、B型などあることを初めて知りました。子供や保護者と、早目に将来を見据えて考えていくことが大切だと感じました。(小学校) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたかった内容の情報を知ることができ、大変勉強になりました。自己理解がなかなか進まずに卒業を迎えようとする生徒がいますが、いろいろな方法で自己理解へのアプローチができればと思いました。(中学校) 	
<ul style="list-style-type: none"> ・進路というテーマでしたが、生活面全体でどのような点に留意すべきかを考えさせられました。進路、進学、就労などの詳細も知ることができ、有意義でした。一番大きな課題は「自己理解」であると再認識しました。(中学校) 	



進路指導において、児童生徒の将来の姿や社会生活を見据えて、子供の現段階の力を基にスモールステップで取り組んでいくことが重要です。そのためには、進路に関する情報、現状を知っておくこと、児童生徒や保護者に進路に関する情報を適切に提供していくことも大切です。

地域支援部では、指導・支援に関する相談のほか、進路や教育支援計画に関する相談や情報提供などにも対応しております。知りたいこと、尋ねたいことなどありましたら、地域支援部の電話相談などもご活用ください。

